

「令和４年度板野町公金運用実績」の公表について

板野町では「板野町公金の管理及び運用に関する要綱」に基づき、安全性の確保、流動性の確保、効率性の追求を基本原則に公金の保管及び運用に努めています。

資金運用においては、歳計現金等及び基金について支払いや取り崩しに支障のない範囲で、定期預金及び債券により安全かつ効率的な運用を行っています。

公営企業を除く会計管理者が運用する令和４年度における歳計現金等及び基金の運用実績は、次のとおりです。

１ 歳計現金等

	令和４年度(a)			【参考】令和３年度(b)			【参考】前年比較(a－b)		
	平均残高 (千円)	運用収入 (円)	利回り (%)	平均残高 (千円)	運用収入 (円)	利回り (%)	平均残高 (千円)	運用収入 (円)	利回り (%)
預 金	751,242	7,986	0.001	684,359	6,053	0.001	66,883	1,933	0.000
普通預金	351,242	5,302	0.002	684,359	6,053	0.001	▲ 333,117	▲ 751	0.001
定期預金	400,000	2,684	0.001	0	0	0.000	400,000	2,684	0.001

- ・平均利回りに変動はなく、平均資金運用額が約67百万円増加したことにより、運用収入も約2千円増加しました。
- ・今年度から余裕資金について定期預金での運用を開始しましたが、1年満期の定期は満期未到来のため運用収入がなく、8ヶ月の短期運用で年度内に満期を迎えた1億円に対する運用収入のみで、平均利回りも「0.001%」に留まっています。

２ 基金

	令和４年度(a)			【参考】令和３年度(b)			【参考】前年比較(a－b)		
	平均残高 (千円)	運用収入 (円)	利回り (%)	平均残高 (千円)	運用収入 (円)	利回り (%)	平均残高 (千円)	運用収入 (円)	利回り (%)
預 金	3,440,523	127,104	0.004	2,951,385	278,747	0.009	489,138	▲ 151,643	▲ 0.005
普通預金	495,789	4,944	0.001	503,094	5,041	0.001	▲ 7,305	▲ 97	0.000
定期預金	2,944,734	122,160	0.004	2,448,291	273,706	0.011	496,443	▲ 151,546	▲ 0.007
債 券	207,211	290,000	0.140	49,906	0	0.000	157,305	290,000	0.140
繰替運用	0	0	0.000	0	0	0.000	0	0	0.000
合 計	3,647,734	417,104	0.011	3,001,291	278,747	0.009	646,443	138,357	0.002

- ・平均資金運用額が約6.5億円増加し、平均利回りも上昇したため、運用収入は約14万円増加しました。
- ・定期預金は、平均資金運用額が約5億円増加したものの、利率の引き下げにより運用収入は約15万円減少しました。
- ・昨年度から開始しました債券運用による利子収入は29万円で、平均利回りは「0.14%」となっています。

【説明】

- ※「歳計現金等」とは、一般会計及び特別会計に属する現金並びに歳入歳出外現金のことです。
- ※「基金」とは、板野町の各基金条例により設置している、特定の目的のために資金を積み立てるための基金(積立基金)と、特定の目的のために定額の資金を運用するための基金(運用基金)のことで、現在14の基金を設置しています。
- ※「平均残高」とは、毎月末の残高の合計を12で除したものです。
- ※「利回り」は、運用収入額を平均月末残高で除して算出した目安の数値です。
- ※「定期預金」とは、預入れ期間を定めて預け入れ、満期日までは原則として払戻しができない期限付預金です。
- ※「債券」とは、国や地方公共団体、民間企業などが資金を調達したい場合に、定期的な利息の支払および額面金額での償還を投資家に約束して発行する有価証券です。
- ※「繰替運用」とは、資金不足に対応するために、基金に属する現金を歳計現金等や企業会計へ一時的に繰り替えて使用するものです。
- ※計数は表示単位未満を四捨五入し端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合があります。